

ホッケー日本リーグ機構

高円宮牌 2013ホッケー日本リーグ【男子】第2節 第4日

開催日時 4月28日(日) 会場 小矢部ホッケー場 天候 晴天

【全試合結果】

第1試合	山梨学院OCTOBER EAGLES	2	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 2 & -0 \end{pmatrix}$	1	法政大学
第2試合	ALDER飯能	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 3 & -0 \end{pmatrix}$	0	診療印刷
第3試合	東京農業大学	2	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -4 \end{pmatrix}$	4	小矢部RED OX

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院OCTOBER EAGLES	2	$\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 2 & 0 \end{pmatrix}$	1	法政大学
2 勝 0 分 2 敗			勝点 1 0 勝 1 分 3 敗	

<得点>

山梨学院 : 10分細田
法政大学 : 57分穴井、64分村田

<戦評>

前半、組織力に勝る山梨学院がゲームを優勢に進めるが、10分、カウンターから法政大学がPCを取り、#14安井がシュート。山梨学院GK#1今村が好セイブを見せるが、法政大学#21細田がそのリバウンドボールをダイレクトリバースヒットシュートをゴール上段に決めた。その後も山梨学院がゲームを優位に進めるが両チーム得点できぬまま、前半戦を終了した。

後半に入っても、一進一退の攻防が続く中、57分、山梨学院#14松本がレフトサイドのライン際をスピードあるドリブルで回り込み、#24穴井にパス。一旦は法政大学のDFに阻まれるが、そのリバウンドボールをヒットシュートし、ゴール下に決めた。64分にも、山梨学院#7村田がサークルトップでボールを受け、見事なドリブルで相手DFを振り切り、レフトサイドからリバースヒットシュートをゴール下に決め、山梨学院2対1の逆転で勝利を納めた。

テクニカルオフィサー ジャッジ	真 喜代司 表 智子、武部 直美	アンパイア	細川 祐司 西間庭 浩
--------------------	---------------------	-------	----------------

第2試合

ALDER飯能	4	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 3 & 0 \end{pmatrix}$	0	診療印刷
3 勝 0 分 1 敗			勝点 3 1 勝 0 分 3 敗	

<得点>

ALDER飯能 : 14分北里 53分浦前 69分草野 70分浦前

<戦評>

埼玉県勢同士の対戦は、序盤から気迫のこもったプレーが続いた。先制したのはAL飯能、ボールを大きく動かしながらの攻撃からPCを取得。14分#11北里フリックシュートを決め、1対0とリードした。その後互いに3本ずつPCを取得する激しい攻防となつたが、共に決めきれず前半を終了した。

後半に入ると、診療印刷は果敢に攻撃を仕掛け、AL飯能ゴールに何度も迫る。しかし、あと一歩のところで得点できず、時間が流れていく。逆にAL飯能は、53分PCから#6浦前の狙いすましたシュートで2対0とリードを広げ、試合を優勢にした。終了直前には、69分#22草野のタッチシュート、70分PCから#6浦前がゴール左下へのシュートで加点。結果的には4対0となり、AL飯能が勝ち点を9に伸ばした。

テクニカルオフィサー ジャッジ		アンパイア	
--------------------	--	-------	--

第3試合

東京農業大学 2 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 4 \end{pmatrix}$ 4 小矢部RED OX

勝点 0
0 勝 0 分 4 敗

勝点 7
2 勝 1 分 1 敗

<得点>

東京農業大 : 20分五島 64分岩崎

小矢部 : 37分河合 46分坪内 52分河合 55分早田

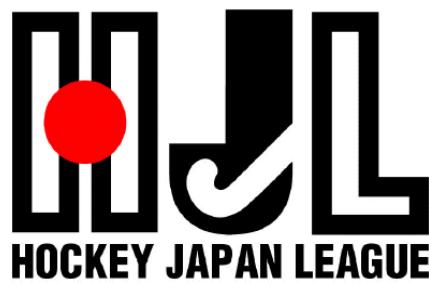
<戦評>

昨日に比べ、動きのよい東京農業大学に対し、動きに堅さが見られる小矢部REDOX。立ち上がりから一進一退のゲームが続くが、東京農業大学は20分、23m中央付近FH早いリスタートから#17瀬島がドリブルイン、センターリングを#9五島がリバースでタッチシュートを決め先取点を挙げる。その後は、REDOXも何度もチャンスを作るが無得点で前半終了する。

後半も立ち上がりからREDOXペースでゲームが進み、REDOX37分PCから#6河合が豪快にフリックシュートを決め同点。46分REDOX#2宮田が右からドリブルで持ち込みセンターリングし#19坪内がダイレクトヒットシュートで追加点を挙げる。その後もREDOXが優位に試合を進め、52分PCから#6河合がフリックシュート、55分#10早田が早いリスタートからドリブルインしヒットシュートを決め4点目を挙げる。一方東京農業大学もPCのチャンスがあったが、決定力を欠き得点を挙げることが出来ない。64分カウンターから#26岩崎がタッチシュートを決め、2点目を挙げるが4対2でREDOXが勝利とし、勝ち点7とした。

リスタートから

テクニカルオフィサー		アンパイア	
ジャッジ			



ホッケー日本リーグ機構

高円宮牌 ホッケー日本リーグ 【男子】 第2節 第 4 日

開催日時 4 月 28 日 (日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

岐阜朝日クラブ 勝点7 2勝1分1敗	6	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	1	Seirio島根 勝点6 2勝2敗
名古屋フラーーテル 勝点9 3勝1敗	8	$\begin{pmatrix} 5 - 1 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	2	福井クラブ 勝点6 2勝2敗
天理大学ベアーズ 勝点7 2勝1分1敗	3	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	2	立命館大学ホリーズ 勝点9 3勝1敗

ホッケー日本リーグ機構
 岐阜朝日クラブ 6
$$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$$
 1 Selrio島根

勝点 7 勝点 6
 2勝1分1敗 2勝2敗

得点	岐 阜→ 9分服部、11・69分森、24分百成、44分高島、66分竹中 島 根→ 38分高橋
戦評	春の暖かい日差しの中、島根のセンターパスにより試合が開始された。序盤から岐阜は積極的に島根陣内に攻め込む。9分、岐阜#27森は左サイドから島根サークル付近にオーバーラップした#10服部にパス。服部は鋭いドリブルで島根DF抜きさり、ヒットシュートをゴール右下に決め先制。さらに岐阜は11分、PCで島根DFの反則を誘い、PSを獲得。#27森が冷静に決め2-0とする。24分にも島根陣内右サイドからのセンタリングをゴール前につめた#2百成がタッチシュート。3-0で前半を折り返す。 後半、島根が猛攻を開始。38分、岐阜サークル内で岐阜DFの反則によりPSを獲得。これを#21高橋が確実に決め3-1とした。しかし44分、岐阜はカウンター攻撃を仕掛け、#27森と#6高島の速いテンポのパスワークで島根DFを翻弄、ゴール前に走り込んだ高島がゴール右下に押し込みダメ押しの4点目を決めた。岐阜は66分にも速いリスタートで島根DFの隙を突き得点。岐阜は69分にも得点し、6-1と圧勝。勝点を7にした。

テクニカルオフィサー ジャッジ	松宮 弘 西上 英雄	アンパイア	富山 喜正 戸塚 洋介
--------------------	---------------	-------	----------------

名古屋フラーテル 8
$$\begin{pmatrix} 5 - 1 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$$
 2 福井クラブ

勝点 9 勝点 6
 3勝1敗 2勝2敗

得点	名古屋 → 10・24・32分橋、15・22・47分河内、39分川上良、51分大野 福 井 → 3分渡辺、54分為国
戦評	名古屋のセンターパスにより試合が開始された。猛攻を仕掛けたのは福井。名古屋陣内右サイドから#10三谷は鋭いドリブルでサークル内に侵入し、ゴール前に待ち構えていた#7渡辺にパス、渡辺が冷静にゴール左下に決め1-0と先制。反撃する名古屋は10分、福井サークル内右から#20大野はゴール前の#11川上良にパス、川上良が弾いたところを#17橋がゴール右にダイレクトシュートで決め、試合を振り出しに戻す。さらに名古屋は15分、#12吉原が福井陣内左サイドからサークル内に侵入し、ゴール前に上がっていた#6河内にパス。河内はそのままゴールに押し込み逆転に成功する。勢いに乗った名古屋はその後、立て続けに得点し5-1とほぼ勝利を決定付けて前半を折り返す。 後半39分、攻めの手を緩めない名古屋は、#12吉原が福井陣内中央からゴール右に走り込んでいた#2川上良に絶妙なヒットパスをつなぎタッチシュートをアシスト。その後も名古屋は得点を重ね8-1とする。一矢報いたい福井も54分にPCを獲得。#2為国がフリックシュートを決めるが、8-2と名古屋が圧勝。勝点を9に伸ばした。

テクニカルオフィサー ジャッジ	堀田 光昭 西上 英雄	アンパイア	松原 久 小原 直也
--------------------	----------------	-------	---------------

天理大学ベアーズ 3
$$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$$
 2 立命館大学ホリーズ

勝点 7
2勝1分1敗 勝点 9
3勝1敗

得点	天理 → 21分小澤、28分坂本、42分落合 立命 → 47分植田、62分森
戦評	天理のセンターパスにより試合が開始された。両チーム激しい攻防を展開する中、均衡を破ったのは天理。21分、流れるパスクワーカーからサークル付近で受けた#6落合はゴール左で待ち構えていた#16小澤にパス、小澤はそのままゴール左下に押し込み先制。さらに28分、フィールド中央のSW#2膳棚からのヒットパスを立命サークル付近で受けた#30坂本は鋭いドリブルで立命DFを突破し、見事なりバースシュートをゴール左下に決め、2-0とし、前半を折り返す。 後半も天理の猛攻は続き、42分、左サイドから立命サークル内に打ち込まれたボールに#6落合が反応、キーパーの焦りを逆手に取り冷静にゴール右下に決め、3-0と突き放す。反撃したい粘る立命は47分、天理サークル内に打ち込まれたボールに天理DFが防ぐがハンドル、立命#10植田がダイビングシュートで押し込み1-3にする。立命は62分にPCを獲得すると、#11森が強烈なフリックシュートをゴール右に決め1点差に迫る。その後も立命は猛攻を続け、天理DFを自陣に針づけにするが後一歩及ばず。天理はリードを守り抜き3-2で立命を下し、勝点を7とした。

テクニカルオフィサー ジャッジ	松宮 弘 中野 典子	アンパイア	近藤 聰史 高橋 英行
--------------------	---------------	-------	----------------